

GRAZIE

“グラッツェ”

“グラッツェ”とはイタリア語で“ありがとう”の意味。陽気なラテン民族の言葉に倣って、素直に感謝の言葉を口にできる明るい場作りを、本学科は心がけています。

特集

高校になくて、大学にあるもの、それはゼミ。ゼミっていったい、何をするとところなの？
『さあ、あなたはどのゼミを受講する？』

国コミのゼミ GUIDE BOOK

全11個のゼミを、訪問してみました(50音順)。巷に溢れる様々なウ・ワ・サを仕入れた後、GRAZIEスタッフが実際のゼミを突撃。独断と偏見に基づき、それぞれのゼミの特色を並べてみました。

ゼミってこ~んなトコ

- 先生と学生の距離が近い
- 一人一人と向き合ってもらえる
- 先生の個性に思いっきり触れられる
- 仲間と密な時間を共有できる



先生のキャラに近い人が集まる。それは本当？

2年間を費やすゼミだから慎重になります。2年次でそのお試し期間があるって、本当？

ゼミでは上級生と一緒に授業が受けられるって、本当？

➡ 回答は4Pめ

言葉の構造のナゼ？を分解すると、国民性まで見えてくる！

— 英文法の構造を、“英語”で学ぶゼミ —
岩下ゼミ

ある日の授業の—コマ—

男子学生が多く、数名ほどでテーブルを囲んでの授業。教科書を見ながら、それを一人ずつ順番に読み、訳していく。

先生「主語が先に来るのは、日本語も英語も一緒。けれどその次に来るのは、日本語が目的語、英語が動詞。これが意味することはなんでしょう？」

学生「うーん、英語の方が結論が早くわかるってことですか？」

先生「その通り！それで言うと、日本語に見る日本人気質で気付くことは？」

学生「……否定か肯定かも、文末にならないとわからない？」

先生「そう。ある意味、忍耐強い特性を持っているとも言えます。英語の記事は結論が文頭にあるので、多忙な人は最初の部分しか読みません」
文法分析の結果、そこに見え隠れするヒトの特性にまで話題は及ぶ。

先生「日本語で「机は“あり”ます」。でも「人は“い”ます」です。英語でも関係代名詞はwhichとwho。そこは両言語とも、人間とそうでないものを、きちんと区別しているわけです」……

どんな人に向いてる？ 言語を論理から捉えて学ぶのが得意とする人

先生からのメッセージ 言語文法の成り立ちと一緒に謎解きしていきましょう



スバリ、このゼミで得られるものはコレ！（かも）

文法から、その言語の文化背景を読み取れるようになる！

はみだしコラム

ONとOFFのけじめがハッキリしている先生。ゼミ生らとの飲み会にも積極的に参加、学生との距離を感じさせない。卒業式でゼミ生から渡された色紙を、嬉しさのあまり抱いて持って帰ったという逸話が残る。

行動あるのみ。自分たちの手で、とにかく何かをやってみよう！

— アフリカを材料に、イベントプロジェクトを企画・運営・実行するゼミ —
菊地ゼミ

ある日の授業の—コマ—

大学付属Star☆Shopsカフェで、なにやらゼミ生たちは忙しそう。ある学生はキッチンでアフリカ料理を作り、ある学生はチャイを。また別の学生は司会をし、そしてカメラ片手に会場を走り回るのは、記録係。当日、ゲストスピーカーとしてこのゼミに訪れたコンゴ出身のモフランさんが勢い良くドラムをたたき出すと、会場

のボルテージは一気に上昇。“やんちゃ”を地でいくような雰囲気のある学生が、活き活きとした表情で語りかけてくる。

「俺たちは、よくあるイメージとはまた違うアフリカを、みんなに伝えていきたい。そのためにまず、教科書からアフリカを知る→グループで内容をまとめて発表&討論→そして、イベント“アフリカフェ”を企画立案+実現させる。その一連の流れすべてがゼミなんです」

会場の盛り上がりは最高潮、アフリカのリズムにみな汗だく。踊って五感を鍛えることもまた授業の一環という雰囲気……

どんな人に向いてる？ お祭り好き、または体を動かすのが得意とする人

先生からのメッセージ ひたすら勉強したい学生に、ぜひ、来て欲しいです



スバリ、このゼミで得られるものはコレ！（かも）

今まで遠かったアフリカが、急に身近になる！

はみだしコラム

楽しくなければ勉強じゃない！がモットーのゼミは、授業も互いの意見交換に力を入れているので、眠っている場合じゃない(笑)らしい。先生がアフリカの憑依霊を研究しているだけあって、キャラが濃い学生が集まるとの噂も。

次ページへ

テーマに沿って集めた資料、それをどう解釈すればいい？

— 社会調査の方法論を学ぶゼミ —
張ゼミ

ある日の授業の
一コマ

教科書は使わず、共有フォルダに保管されたpdfファイルを使っている授業。パワーポイントでの発表が多いので、ゼミはパソコンルームで行われる。先生から出される課題をグループごとに研究、それを授業内で他グループに発表する。この日のテーマは“資料分析法”。質的調査とは具体的にどうすればいいのかわかる。学生がその手法をプレゼンテーションしている。

学生「僕は研究対象者にインタビューを行い、回答をデータにして集めました」

先生「それは、質的調査の“参与観察”にあたりますね。じゃ、例えば、他にはどういったシチュエーションでやれば、“参与観察”になりますか？」

学生「うーん……じゃ、僕の研究の対象者が働いている場所で一緒に働くとか？」

先生「そうですね。それも質的調査の手法の一つと言えますね」

身のまわりにある様々な現象を、質的研究に当てはめて分析するのなら、具体的にどういった方法があるのかわかる。先生からビシバシ飛んでくる質問で明らかにされていく……

どんな人に向いてる？ 身のまわりの様々な現象を客観的に捉える方法を知りたい人

先生からのメッセージ 目的意識が明確で、チームワークの得意な学生に来てもらいたいです！

ゼミ飲み会 年2回	体験学習プログラム	合宿	ゲストスピーカー授業
○	×	○	×

スバリ、このゼミで得られるものはコレ! (かも)

調査方法を学ぶので、客観性の高い卒業論文が書きあがる！

はみだしコラム
さわやかな先生の色を反映するかのよう、さっぱり&まっすぐな雰囲気の子が多い。一つの現象を様々な角度からみる訓練を施されるので、頭を使いすぎて、授業が終わるとふらふら〜という声も(笑)。



表現物の奥に隠されている意味を、深読みしてみよう！

— メディアを斜め横から見るゼミ —
イングルスルドゼミ

ある日の授業の
一コマ

先生と学生が対面し、「メディアスタディーズ」というテキストを用いた授業。ゼミ生は概ね“大衆文化”が好き。その日は、マンガが2人、小説が2人、野球が1人、映画音楽が1人。

先生「メディアには必ず発信者の“概念”が刻まれています。皆さんの身近なもので、それを読み取った経験を聞かせてください」

学生A「マンガ『スラムダンク』も、読者の心を引きつける理由が、ストーリーが勝ち負けの繰り返しにあるからだ気がしました」

学生B「私はゲーム『ファイナルファンタジー』ファンなのですが、あれは生命力をいかに維持するかが肝。その永遠不滅の哲学的問いに、ファンははまってしまうんだと思います」

先生「そうですね。メディアといっても、マンガ、小説、映画、もっと言えば、ファッションだって記号だという意味ではメディアです。その奥に潜んでいるのが見え始めると、メディアの見方が変わって面白くなりますよ」……

どんな人に向いてる？ 映画・小説・音楽・CM・マンガなどを、より深く知りたいと思う人

先生からのメッセージ ちょっと違った視点で物を見た人、集まれ！

ゼミ飲み会 年度による	体験学習プログラム	合宿	ゲストスピーカー授業
×	×	×	×

スバリ、このゼミで得られるものはコレ! (かも)

ヒトの心を掴むメディアの“なぜ？”がわかるようになる！

はみだしコラム
先生の静かな外見からは想像できないほど、授業中の先生はテンションが高い。教室にずっと楽しそうな笑い声が響いていることから、「一番ノッているのは先生。真骨頂を見せてもらえます」とゼミ生達に評判。

“シェイクスピア”を題材に、登場人物の心理を読み解いてみよう！

— 歴史的名作を静かに味わい、教養を深めるゼミ —
住本ゼミ

ある日の授業の
一コマ

5幕構成の作品を、それぞれの人が担当を決めて発表。要約し終わると、メンバー全員で、その解釈について討論が始まる。

先生「では、32Pから見ていきましょう。プロスペロがファーディナントに冷たくあたったんですね？」

学生A「はい。でも前ページの状況から考えて、きっと外面では冷たくても、内心は相手はどうでてるかを試していたんじゃないか？と思います」

学生B「父親があえてそう仕向けたのでは!？」
先生「なるほどね。ここに出てくる言葉はきついですが、その裏には深い愛情があったのかもしれないよ」

物語の記述(言葉)の奥にある人間の心理を、想像しながら、読み取っていく。テキストに出てきた挿絵を見ながら、次第に話題はその絵の作者に。学生Cが作者のプロフィールを、その場でiphoneで調べるといって今どきっぽい光景も。もの静かなゼミ生たちの発言を、先生が丁寧にくみ上げる感じで、授業は進められていく……

どんな人に向いてる？ シェイクスピアを通じて、人間としての幅を広げたいと思う人

先生からのメッセージ 学生さん達、いろいろ気付かせてくれて、ありがとう

ゼミ飲み会 年度による	体験学習プログラム 年2回の観劇	合宿	ゲストスピーカー授業
×	○	○	×

スバリ、このゼミで得られるものはコレ! (かも)

シェイクスピアを通じて、人間って素敵だなと思える品が身につく！

はみだしコラム
二代め学長が収集した、英国文学史上最も貴重な本『シェイクスピア戯曲全集』(一冊6億円相当)が特別に見られるため、明星の財宝に一番近いゼミという異名も。母性愛に包まれたゼミの雰囲気は家族そのもの。

各界で偉大な功績を残した著名人の言葉に、耳を傾けてみよう！

— 人生の先輩達からのメッセージを知るゼミ —
鈴木ゼミ

ある日の授業の
一コマ

普通の教室スタイルでのゼミ。先生が黒板の前で、テキストと連動した、ネイティブ音読教材にスイッチを入れると、ゼミ生らは聞こえてくる音声に合わせて、英文を目で追っていく。1段落終わると、先生は音声を止め、ランダムに学生を指名(授業中、一人一回は発言)。あてられた学生はテキストの英文を読み直し、それに合わせた和訳を始める。

キリのいいところまで聞いて、解説を始める先生。この日は『ライト兄弟』についてのお話だった。先生はライト兄弟が生きた時代の背景、同時期に日本で起きた出来事などを話し始める。一回のゼミで、一題材が取り上げられる。2011年度の題材は、『ジョン・F・ケネディ』『盛田昭夫』『バプロ・ピカソ』『ヘレン・ケラー』『ネルソン・マンデラ』『マザー・テレサ』など。一口に“偉人”とはいっても、公平性を欠かぬよう、5人毎に「それぞれの歴史的评价」について考察する授業が設けられ、意見交換を行う……

どんな人に向いてる？ 人類に貢献した“偉人”のメッセージに興味がある人

先生からのメッセージ 真面目に勉学に取り組む学生を待ってます

ゼミ 飲み会 年2~3回	体験学習 プログラム	合宿	ゲスト スピーカー 授業
X	O	X	X

👉 **スバリ、このゼミで得られるものはコレ! (かも)**

社会に出て苦難に出会った時、ゼミで知った偉人の言葉に励まされる!

はみだしコラム

教科書をベースに、易しいところからしっかりと英語を学習するため、いわゆる“授業”らしい授業をするゼミ。先生の言葉に耳を傾け、真面目にノートを取る女子学生の姿が、私塾ゼミナールを彷彿させる。

欧米(英国中心)の文学を味わいながら自分なりのテーマを見つけ出してみよう!
—様々な文学作品を通して自分の教養を深めるゼミ—
高島ゼミ

ある日の授業の—コマ

若干人数多めのゼミの開催場所は、普通の教室。先生は教室の後ろからあくまで見守り役、司会進行は学生が行う。

この日は、後期に題材として取り上げられた映画「英国王のスピーチの真実-ジョージ6世の素顔」の内容について、先生が作った質問シートに基づき、グループごとに答えを発表している。

司会学生A「ではみなさん、あてます!『アルバートは、ジョージ6世(王)としての即位をどのように受け止めましたか?』。はい、Bくん!」

学生B「本当は王なんてなりたくなかった。しかし、自分の立場を思えば、いたしかたない苦渋の選択だったと思います」

学生A「他に意見はありますか? Cさんはどうですか?」

学生C「苦しいけれども、他に替わる人がいないから、国を守るためにやるしかないという決断だったと思います」

同じ質問事項でも、グループごとに答えは様々。ゼミ生全員で作品を様々な角度から話し合い、そこに込められた意味の解釈を広げ、洞察を深めていく……

どんな人に向いてる? 欧米の文化に興味がある人、自分と他者との関係に興味がある人

先生からのメッセージ 好奇心の旺盛な人に来てもらえたらと思います

ゼミ 飲み会 年2~3回	体験学習 プログラム	合宿 年度による	ゲスト スピーカー 授業
X	O	X	X

👉 **スバリ、このゼミで得られるものはコレ! (かも)**

作品を通じて、“人間”というものについて、より深い理解が得られる

はみだしコラム

“歩くフランス人形”と称される先生が率いるだけあって、男子も女子もオシャレな人が多い。“美の追求”にあくなき情熱を傾ける先生に同伴して、美術展を観に行ったゼミ生も。

先生は交通整理役。同じゼミ仲間からの質問や問いかけが刺激的!
—教えられるのを待つのではなく、自ら個性を伸ばしていくユニークゼミ—
田中ゼミ

ある日の授業の—コマ

モニター付きのプレゼンテーションルーム。

学生Aがプレゼンを始めると、みな急に真剣に。けれど中にはお菓子をつまんでいる人も(←やることをやっていれば、お菓子OK)。自由な雰囲気は、まるで欧米の大学。交通整理役の先生は後方に着席。

学生A「僕は、敬語を使ったフォーマルな議論とタメ語での議論、双方で結論にどう違うが出てくるかを研究しようと思っています」

学生B「あはは、Aは先日先輩にタメ語使って、怒られてたもんね」

学生A「自分は敬語を使わないで通そうと思っているタイプなので、それを研究テーマに選びました。」一同、笑。

このゼミでは、研究の“手法のみ”を教わる。なので、学生は自分の興味あるテーマを好きに選んで研究を始めることになる。

Aくんが自分なりの研究手法予定を発表すると、それに対し間髪置かずゼミ生から意見の嵐。抜群の突っ込み、鋭い指摘に、Aくんの研究内容も揉まれに揉まれ、黒白(方向性)がはっきりつけられていく……

どんな人に向いてる? 受け身が苦手、むしろ自分から発信していきたい人

先生からのメッセージ 自分の考えをはっきり持っている学生、大歓迎です

ゼミ 飲み会 年2回	体験学習 プログラム 外国人向け イベント運営	合宿 夏(勉強) 冬(遊び)	ゲスト スピーカー 授業
O	O	O	X

👉 **スバリ、このゼミで得られるものはコレ! (かも)**

仲間からの積極的突っ込みさらされて、自分の立ち位置を確認できる!

はみだしコラム

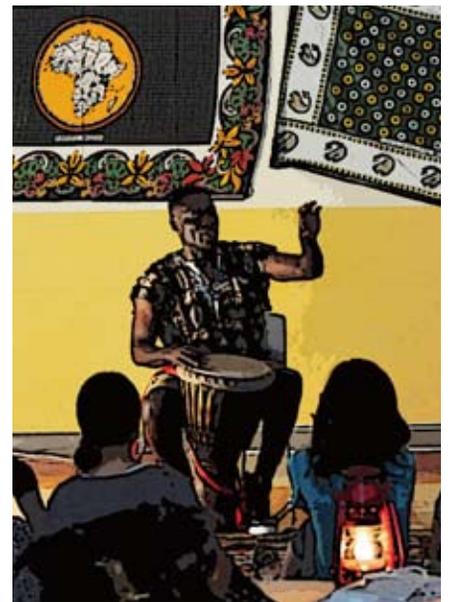
個性豊かな先生を反映し、反骨精神旺盛で異彩を放つ学生が多いことで知られる。教員vs学生を越え、学生vs学生での議論も活発。授業最後に突然ゼミ生の誕生日が発表され、ケーキと歌でお祝いすることも。

チームワーク作業をしながらコミュニケーション力をUPしよう
—論文制作を通して、社会でも通用する能力を—
深田ゼミ

ある日の授業の—コマ

座り心地のいい椅子&丸テーブルが置かれた教室。それぞれのテーブルに1グループ(3~4人)ずつ着席、発表は個人ではなくグループ単位で行われる。

発表グループの学生A「私達3人は『飲み会が



友好関係に与える影響」について調べました」

学生B「手近なところで、ゼミ生全員にインタビューを行いました」

学生C「すると、友好が深まったと答えた学生が×名、そうでもないと言う学生が×名、……中略……。やはり飲み会は友好関係を深めるのに有意義だということがわかりました」

先生がインタビューの方法論について、コメント。飲み会という身近なテーマだけに、先生の話も少し脱線、体験談がまたゼミ生の笑いを誘う。学生に近い世代の先生が受け持つゼミだけに、“教える”というよりは“一緒にやっている”という雰囲気。

観察、インタビューなど、複数の研究手法を使ってデータ収集するので、コミュニケーション力が自ずとアップ。生徒の学習意欲をどうあげるかなど、英語教育の現場で役に立つ研究をするゼミ生が多いのも特徴……

どんな人に向いてる? 先生の専門が英語教育なので、英語教員になりたい人

先生からのメッセージ 卒業後、自分の力で歩いていける人を育てたいです

ゼミ 飲み会 月1回	体験学習 プログラム	合宿	ゲスト スピーカー 授業
O	X	O	X

👉 **スバリ、このゼミで得られるものはコレ! (かも)**

ゼミ内の仲間との共同作業を通して、チームワークのコツを学べる!

はみだしコラム

一見、誰が先生なのかかわからないくらい学生に溶け込んでいる先生。別称“ザ・筋肉”と言われる先生のゼミは、ふんどして和太鼓をたたき雰囲気(?)と例えられる。授業中の難しい話をたまに和ませてくれる先生の突発的ギャグが、ゼミ生の人気の的。(23年度は深田ゼミは休講となります)

様々な映像作品から、その背後にある社会的メッセージを読み取ろう！
—サブカルチャー大好き人間が集うゼミ—
細谷ゼミ

ある日の授業の—コマ

モニター付きの教室。その日プレゼン担当の学生が、自分が気になる映像作品を用いて、事前に鑑賞→読解→分析の作業を

行い、映像も編集して、いざ発表。
学生A「私はジブリ作品に焦点を当てました」そして登場する男性主人公が自由を謳歌して息けているシーンを映し出す。

学生A「ジブリ作品に出てくる男性は怠け者、女性はいつも働き者として描かれていることが多いことに気付いたわけです」

分析を並べ、結論を導きだしたプレゼンは終了。するとゼミ生達が積極的に手を挙げ始め、各々の感想を述べる。

学生B「良い人も悪い人も、ジブリ作品には女性が多いですよ」

先生「たしかに。これはなぜ？ まさに研究対象に値します。フェミニズム論にまで展開できる可能性がありますね」

学生C「Aさんの発表は、映像と解説がきちんとリンクしていて分かりやすかったです！」

次にプレゼンした学生が扱った題材はハリウッド映画。その解釈についても、みなで熱い議論が交わされる……

どんな人に向いてる？ 生産性度外視の“文化”なしで生きていけない人

先生からのメッセージ 赤い羽根募金をやるような真面目で明るい子、待ってます



スバリ、このゼミで得られるものはコレ! (かも)

普段何気なく触れている文化作品に秘められた世相を、読めるようになる!

はみだしコラム

サブカル好き&年齢不詳な先生を嫌い、密かに“永遠の中2(死ぬまで14歳)集団”と例えられる。実用より文化、アニメにマンガ、フィギュアに映画こそが人生を豊かにする、と信じてやまない学生が多いらしい。

国際社会をもっと良くしたい。ならその前に、現在の構造を知ろうよ!
—国際関係学視点から、毎回議論が白熱するゼミ—
毛利ゼミ

ある日の授業の—コマ

教室に充満する熱気。演台の学生が、まるで国際組織のスタッフのように『民間軍事会社』(戦争代行人)について解説している。

学生A「冷戦の集結によって誕生した民間軍事会社ですが、そこに付随する様々な問題に国際法が適用されないことを知りました。なので私は『なぜ民間軍事会社に法の網がかからないのか』をテーマにすることにしました」

質問タイムが始まる。次々と手が上がり、みな、はきはき意見を言う。

学生B「どの国に民間軍事会社が多いですか?」

学生A「英国と米国です」

学生C「その問題は別の××に起因するという理論もあるので、調べてみては?」

学生A「ありがとうございます」

一年かけて練り上げる卒論は、前期に研究テーマと論点の設定、それに伴う自分なりの仮説と分析の枠組みを作り、夏休みを挟んで、こういう発見があったということ、各々発表する。

チャイムが鳴ってもゼミ生の耳は届いていないらしく、議論は白熱中……

どんな人に向いてる？ 自己主張があって、ディスカッションで自分を表現したい人、または自称硬派

先生からのメッセージ 国際開発、平和問題に興味のある人、待ってます



スバリ、このゼミで得られるものはコレ! (かも)

題材が題材なだけに視野が広くなり、討論を通して論理的思考が養われる!

はみだしコラム

パワフルで王道をゆくタイプが多いことから、ゼミ生らは“毛利派”と呼ばれている。先生の専門でもあるNGOへの関心も高く、『国際平和』という高く掲げられた目標が、モチベーションの高さ&積極性の鍵。

“ウ・ワ・サ”のホントのトコロ

ウ・ワ・サ

先生のキャラに近い人が集まる。それは本当?

本当です。ゼミは先生との距離が近い分、先生の影響が大。だから学生も自分と相性の合いそうな(価値観が合いそうな?)ゼミを選ぶ傾向があります。

ウ・ワ・サ

2年間を費やすゼミだから慎重になります。2年次でそのお試し期間があるって、本当?

はい。2年次に専門基礎研究I(前期)II(後期)というお試しゼミ期間があります。I IIでそれぞれ別の二人の先生につき、3年次になる時にどちらの先生につくか、選択します。

ウ・ワ・サ

ゼミでは上級生と一緒に授業が受けられるって、本当?

はい。ゼミは3年生と4年生が同じクラスで受講します。基本的にどのゼミも定員は3,4年合わせて20名。3年生で卒論への助走を始め、4年生で完成させます。つまり、足かけ2年間、同じ先生とお付き合いをすることになります。

Wanted

学生編集スタッフ募集中!

将来マスコミの仕事をした人、またはイラストなどで自己表現をしたい人、記事を書きたい人など常時募集中。企画段階から実際に形にしていって、全てを自分で体験できるので、とてもやりがいがありますよ。積極的な参加をお待ちしています。

これは是非載せて欲しい!!の記事&情報大募集

“GRAZIE”は、学生のみなさんと作っていくメディアです。より充実した内容にしていきたいために、どんな些細なことでもネタをお待ちしています。

〔応募先〕〒191-8506 東京都日野市程久保2-1-1明星大学国際コミュニケーション学科
Tel 042-591-5329またはinfo-com@eleal.meisei-u.ac.jpまで

「編集スタッフの眩き」

今回は変則バージョンで、作業はそれぞれのゼミを訪問するところから始まった。個性溢れるゼミは、違う文化を持つ国々を探訪しているように面白かった。ああ、私ももう一度女子大生になりたい。そうだ。今からそれを目標にガンバろう(笑)。■Y